

第17号《復刊第10号》

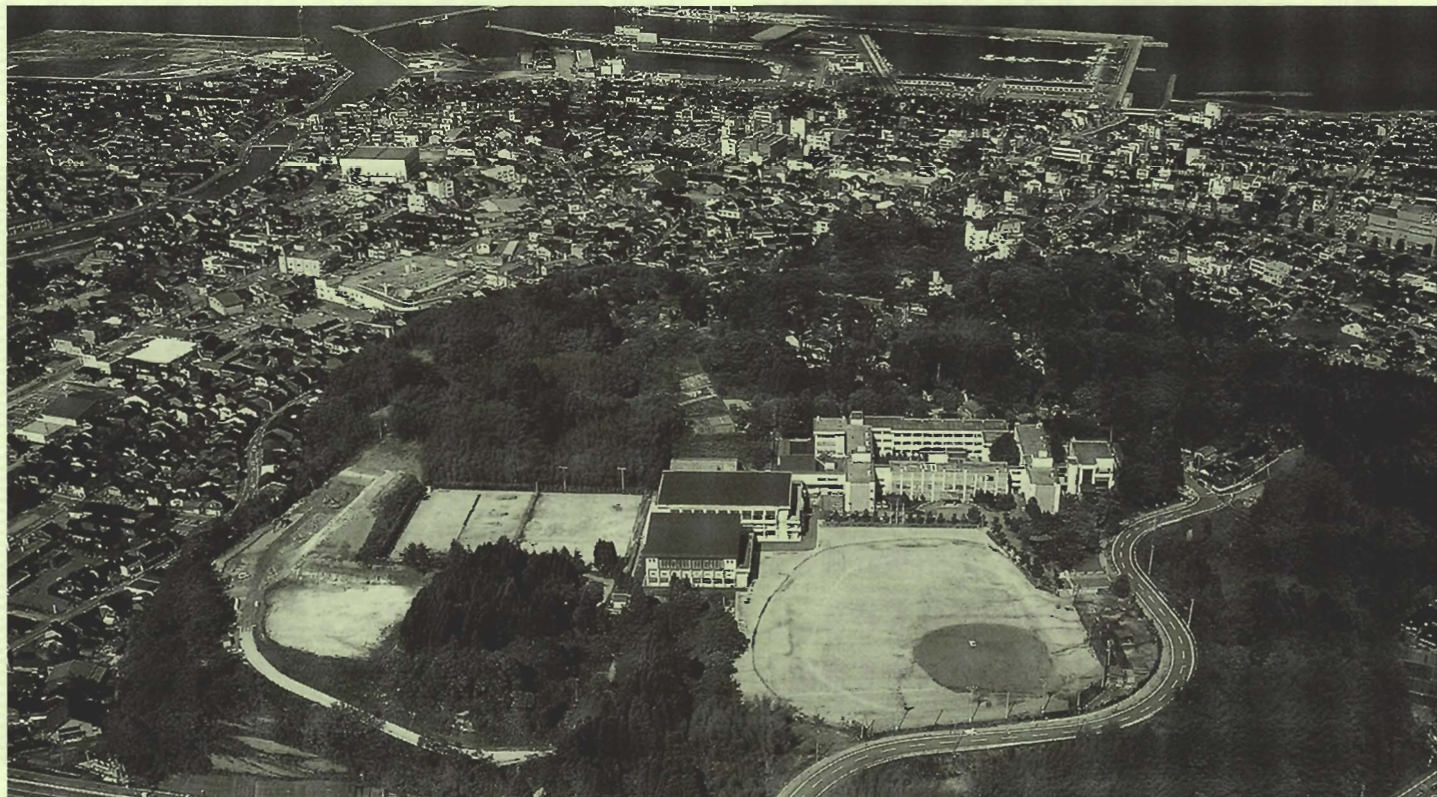
富山県立氷見高等学校

創立80周年記念号

2006(平成18)年12月20日

同窓会報

■発行/同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel0766-74-0335 Fax0766-72-8136
ホームページアドレス <http://www.tym.ed.jp/sc357/>



創立80周年記念

平成18年

9月29日(金) 記念式典 10:00~

記念演奏会 11:00~

氷高祭 13:30~

9月30日(土) 氷高祭 9:00~



挨拶

同窓会長 稲積 佐一

本校は昭和2年、県立氷見中学校として創立致し、幾多の変革を伴いながら、現在22,000余名の卒業生を輩出するに至りました。

また、この度の創立80周年記念事業につきましては、名簿の発行、麗峰会館の改修、整備、記念式典に付随する行事等を計画致しました。一年計画で募金、つれて麗峰会館の改修も終え、見事に出来上がり、生徒の利用も飛躍

的に向上致しました。皆様方のご協力には、心から感謝申し上げます次第です。

本校は特に市民から山の学校と言われて親しまれて参りましたが今日では地域、学校、家庭との連携が叫ばれておりその精神を十分に斟酌頂き、母校発展の為、更に地域の繁栄に御尽力賜ります様重ねてお願い申し上げます、お祝いの言葉と致します。

記念式典

開式の辞

君が代斉唱

式 辞

祝 辞

学 校 長

県 知 事

県議会議長

県教育委員会委員長

氷見市長

祝電披露

喜びの言葉

校歌斉唱

閉式の辞

生徒会長



式 辞

学校長 関 寛



秋晴れの空高く澄み渡る本日ここに、富山県立氷見高等学校創立80周年記念式典を挙げるにあたり、ご多用中にもかかわらず富山県知事様をはじめ、多数のご来賓ならびに本校ゆかりの皆様のご臨席を賜り誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。このように創立記念の年を迎えることができましたのも、ひとえに歴代の教職員の皆様、保護者の皆様、同窓生の皆様、地域の皆様、そしてご指導いただく県市の関係各位のお陰と心から感謝申し上げます。併せて、このたびの記念事業推進に、同窓会、PTAをはじめ関係各位から、物心両面に亘り献身的なご厚意をお寄せいただき、60周年に建設のセミナーハウス麗峰会館の改修ができましたことに深く感謝申し上げます。生徒も待望しておりました新麗峰会館を、積極的に使わせていただくことで、ご厚意に報いる所存であります。

さて、本校は昭和2年に地域の強い設立要望により、氷見高等女学校・氷見農学校に続き、県立氷見中学校の名で開校いたしました。爾来、氷見中学として19回の卒業生を送り出しましたが、昭和23年4月には学制改革により新制富山県立氷見高等学校が発足し、同じ年9月に氷見高等女学校・氷見農業水産高等学校を併合して総合制高校となりました。昭和25年に定時制を併設しましたが、翌26年には農業科・水産科・家庭科が有磯高校として分離独立したため、普通科単独校となりました。その後昭和31年に商業科が併設され、53年3月の定時制閉鎖を経て、現在に至っております。このような変遷を経て、多くの優れた人材を輩出してきたことは皆様の知るところであり、人材輩出は氷見高校の誇りであります。

新制高校発足後、昭和30年代後半からの高度経済成長により、高等教育機関への進学希望も増大し、併せて、戦後の団塊世代による生徒増や、高学歴志向により、本校への期待も高まりました。それを受け、昭和40年代50年代は以前にも増して学習熱が高まりました。この間、学習だけでなく、部活動も元気でハンドボール部は52年から国体3連覇を果たし、最も活気ある時代を創ったと言っても良いかと思えます。以後昭和60年代から平成の初めにかけて、団塊の世代の子供達が高校生となり、過去最多の1学年9クラス450名の定員となり教室の確保も難しい状況でした。平成7年には自然科学コースが設置され、他の普通科と異なる「天体観測宿泊研修」や「大学連携講座」「課題研究発表」などの学習活動を行い、以後理系の核と

して活動しております。ただ、この頃より少子化が始まり、昨年17年には最盛期の半分にも満たない5クラス200名となり中規模校が抱える問題も出始めております。

このように規模は小さくはなりましたが、この10年の間にも生徒達の活躍により実績を残すことができました。70周年を期に、国際理解教育の一環としてニューヨーク州オーチャードパークハイスクールとの交流を始め、この3月に第6回の海外研修を行ったところであります。他にも韓国仁川市の二つの高校とハンドボール交流を始め、この交流の成果でしょうか男子ハンドボール部はここ10年で4度の全国一を勝ち取りました。また、自転車部はインターハイや国体ですばらしい成績を修めておりますし、過去2度の甲子園を経験した野球部は平成10年・14年に夏の富山県大会で決勝進出を果たす活躍を見せてくれました。文化部では黄アゲハやガガブタの研究で日本学生科学賞を受けた理科部、本県代表として地区や全国コンクールに数多く出場している吹奏楽部の活躍も見逃せません。一方、大学等進学や就職指導においても力を入れ、着実な成果を収めているところです。文武両道のバランスのよさが氷見高校の特色であり、このように実績を残すことで生徒らは、先輩が築き上げた伝統を受け継ぎ、多くの卒業生と同じように、本校が目指す人間としての望ましい人格を身につけたと確信いたしております。

生徒の皆さん、80年の節目に本校の変遷や先輩の足跡を辿る良い機会を得たことを感謝したいと思います。諸先輩が残した数々の業績はそれぞれに一生懸命に取り組んだ賜であります。今日本の中に真剣に学ぶことや真剣に働くことを軽視する風潮があります。真剣に生きることを再認識し、他者との関わりの中で自分を見つけ、日本だけでなく世界を視野に入れた視点を持ち、どこにいてもたくましく生きてゆける人間、そして地域や社会に貢献できる人間となることを目指したいものです。

終わりになりましたが、本日は多数の皆様にご臨席賜り、このような盛大な式典が挙げるできましたことを重ねて厚く御礼申し上げます。80年の伝統の上に新しい伝統を創造していくべく全教職員と生徒が心をつなげて今後邁進していく所存であります。どうかこれからも、本校への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(一部省略)



挨拶

PTA会長 櫻井 一郎

地域の人々から、親しみと敬意の気持ちをもって『山の学校』と呼ばれている富山県氷見高等学校が、このたび創立80年の節目の年を迎えることができましたことは、誠に嬉しい限りです。在校生は、卒業生が築いた伝統を受け継ぎ、守り、校風にある「文武両道」を掲げ、学

習と部活動の両立を目指して日々努力しています。

PTAとしましても、家庭と学校の密な連携をさらに目指して活動を続けていきたいと考えています。

今後とも、氷見高等学校が限りなく発展されることをお祈りいたします。

富山県立氷見高等学校 創立80周年記念事業報告

【記念事業】

平成17年3月

同窓会名簿刊行

平成18年8月

麗峰会館改修

平成18年9月

あゆみ ～写真で見る氷見高、この10年～発行

【記念行事】

平成18年9月29日

創立80周年記念式典

記念演奏会 GIGITEN弦楽四重奏

記念祝賀会

氷見高等学校第一体育館

氷見高等学校第一体育館

JAパレス5F



八十周年記念式典



麗峰会館全景



食堂の木調フローリング



1階ロビーの木調フローリング



2階シャワー室の改修



全館空調設備の更新

喜びの言葉

生徒会長 間 谷 樹 里



本日、富山県立氷見高等学校創立80周年の栄誉ある式典に、私たちが、在校生として臨むことができましたことは、喜びに堪えません。本校は、昭和2年の創立以来、80年の長きに、この自然に恵まれた風光明媚な校舎から、延べ21,848名の偉大な先輩方を輩出してきました。この式に臨み、その歴史の重みをひしと感じております。

思えば、本校に受け継がれてきた「広い視野と豊かな想像力」「自主的精神と公明正大な行動力」「自他尊重の心と協力奉仕の精神」の教育目標は、諸先輩方が、自己の向上と本校の発展のために互いに学びあい心に銘じてこられたものでありましょう。

先輩方が目指してこられたことは、学業のみならず、素晴らしい成果を挙げている部活動や、世界に目を開く国際交流事業など様々な形で私たちに受け継がれ学校生活を支えてくれています。

また、今年が創立80周年という記念すべき年に当たり、諸先輩方に「麗峰会館」の改修工事をしていただきました。新装になった食堂や空調設備が整った施設は、学習や合宿に大いに活用させていただく所存でおります。

その名の如く富山湾の海上に威容を誇る立山連峰を望みつつ、私たちがより一層充実した学校生活を送ることに全校生徒を代表して感謝の念を述べさせていただきます。

さて、私たちは今回の創立記念「氷高祭」で「絆」というテーマを掲げました。今、私たちは、先生方のご指導のもと、勉学に部活動にと日々熱心に打ち込んでおります。しかし、まだまだ未熟な私たちのことです。時には挫折しそうになったり、自分を見失いがちになったりすることもあるかと思えます。

その折には、先生方、友人同士、家族、先輩方、地域の方など氷見高等学校に関わる人たちとの「絆」を深め広げて、苦難を乗り越えていきます。

そして、先輩方が築いてこられた伝統ある氷見高校をいかに発展させていくかは、私たち一人一人の努力にかかっていると思います。物心両面にわたり応援してくださる方々の期待に応えることができるよう決意を新たにしていける所存です。これからの社会を切り開く世代として大志を抱き、切磋琢磨する高校生活を送ることをお誓い申し上げ、喜びの言葉といたします。

創立80周年記念事業を終えて

同窓会副会長 萬 谷 健 郎

平成18年9月29日、午前10時より氷高体育館にて記念式典、そして午後6時より氷見農協会館5Fで、記念祝賀パーティーが盛大な内に行われました。私自身、役員の一員として、麗峰会館の改修をはじめ、記念事業の推進に自分なりに努力したつもりで、式典中に感動するものが有りました。

現在は、「文武両道」の校風の下、県下一すばらしい環境の中で氷高生は、伸び伸びと勉学、クラブ活動に頑張っています。又、各地に於いて多種多様な分野で氷高卒業生が活躍されている現状を見て、私自身も頑張らねばと思っています。

今後、氷見高校が90周年、100周年に向けて個性豊かな人材を沢山輩出出来ますよう同窓会、先生方、父兄方々が三位一体となって応援していきたいものと、卒業生の一人として念じています。

関東支部総会報告

第23回関東支部総会及び懇親会は10月7日〔土〕目黒雅叙園で開催されました。ご来賓として、同窓会本部から稲積佐一会長、萬谷健郎副会長、母校より関寛校長先生、金田浩人先生、元教諭姫本清先生、東京富山県人会連合会から前田治常務理事、東京氷見会から竹本善治副会長、矢代弥六幹事長、北日本新聞社から東京支社長東海龍氏をお迎えし、総勢107名〔男性84名、女性23名〕が参加し、開催されました。総会は船木昭二常任幹事〔高29回生〕の司会で始まり、森谷会長〔高12回生〕から、来賓及び多数の参加者及び役員幹事への謝辞、創立80周年記念式典参加報告、不透明感が続く状況の下でこそ同窓生の絆を強め会の持つ機能を有効活用して欲しいとの挨拶がありました。引続き、古川芳雄〔高22回生〕より会計報告、濱元志郎〔高12回生〕より会計監査報告がなされ、全員の拍手で承認し第一部を終了しました。第二部は来賓のご紹介に続き、稲積同窓会本部会長より創立80周年記念事業に対する協力への感謝のお言葉がありました。また関校長先生からは麗峰会館改修工事竣工に関する同窓生諸氏の多大な支援への謝辞、少子化の影響等の経過



説明があり引続き部活動に於けるハンドボール部、自転車部、ブラスバンド部の全国大会での活躍の報告がなされ、そのほか進学、就職状況、部活動成績一覧表を配布頂きました。続いて竹本東京氷見会副会長からご祝辞を賜り、その後、経済評論家青野豊作氏〔高5回生〕から著作の「実録・越中魂」の講演をいただきました。内容は江戸時代の厳しい年貢〔越中は5公5民：他藩は4公6民〕や7つの暴れ川の氾濫被害による夜逃げ、売薬、北前船の交易等により働き者で忍耐強い情報通の越中魂が、全国に知れ渡ったこと等、奈良朝時代に遡り越中人の魂の形成について多面的角度から分析され、大変わかり易く興味深いお話をされました。第三部は田賀宗彦氏（併中1回生）のご発声による乾杯で始まり、上野公淳〔高12回生〕の紹介による初参加の方や久し振りに出席された方の紹介の後、各自テーブルを移動しての歓談、そして今回特に会員各位が日頃研鑽練磨されている写真、絵画、切り絵、書道の展示作品を鑑賞しました。恒例のピンゴゲームは久保仁常任幹事〔高19回生〕の司会で、支部が用意した景品に加え多数の同窓生等からご寄付頂いた豪華景品で、大いに盛り上がりました。その後、シャンソン歌手の浜本京子さん〔高20回生〕のリードにより全員で校歌を斉唱し、最後は森谷会長と関校長先生による万歳三唱でのエール交換、穴倉副会長〔高12回生〕の閉会の言葉があり各人、同窓会本部から頂いた「蒲鉾」、主催者が用意した「氷見うどん」、氷見市農協から提供頂いた「ひみ穂波」、会場内物産店で購入した「氷見の思い出の品々」、村江近人〔高12回生〕撮影による各テーブル毎の記念写真を手に家路につきました。来年もまた会員の皆様の協力で盛大な総会になる事を願って報告と致します。

副会長 種谷 正（高校12回）

関西支部会だより

関西支部会では4月23日、関寛氷見高校校長、稲積佐一同窓会長らのご来賓の臨席を得て第22回総会と懇親会を、大阪市阿倍野区の天王寺都ホテルで開催しました。多胡会長が「節目の満二十歳を超え成人の仲間入りした本会も、世の趨勢には勝てず、衰退傾向は覆うべくもないが、原点に立ち戻り、身の丈にあった質素ながらも心の通った本来の意味の総会・懇親会へと路線変更し、全員の創意と工夫で永続を図りたい」と挨拶しました。懇親会では、当会会員で京響ピオラ奏者の北村英樹氏（高校23回）と一念発起、齢70にして手習いの当会重鎮、正保顧問（中学19回）によるピオラ合奏が披露され、正真正銘のプロと手元覚東ないアマチュアの取合せの妙もおかしく、満座拍手喝采鳴りやまずと言った状態でした。その後、会員のカラオケ、校歌の大合唱もあり大成功裡に終了しました。9月29日には有志で母校・氷見高校などで行われた創立80周年記念行事に参加致しました。厳粛な記念式典の後、関西支部会でお馴染みの芸芸天弦楽四重奏団による楽しい記念演奏会、氷高祭、懐かしい面々の集う祝賀会と一連の記念行事に出席致しました。11月7日には、京都市・烏丸龍前町でグルメの会プラスを開きました。今年のグルメの会は、食事会（京都ガーデンパレス・レストランブリランテ）にプラスして、前述の北村英樹氏の京都市交響楽団在籍30年記念ピオラリサイタル（京都府立府民ホール・アルティ）をセットとし、物心一体のグルメを堪能する豪華な一夜となりました。

関西支部会会長 多胡 冽（高校7回）

第23回氷見高等学校同窓会



第23回氷見高等学校同窓会報告の続き。内容は、来賓及び多数の参加者及び役員幹事への謝辞、創立80周年記念式典参加報告、不透明感が続く状況の下でこそ同窓生の絆を強め会の持つ機能を有効活用して欲しいとの挨拶がありました。引続き、古川芳雄〔高22回生〕より会計報告、濱元志郎〔高12回生〕より会計監査報告がなされ、全員の拍手で承認し第一部を終了しました。第二部は来賓のご紹介に続き、稲積同窓会本部会長より創立80周年記念事業に対する協力への感謝のお言葉がありました。また関校長先生からは麗峰会館改修工事竣工に関する同窓生諸氏の多大な支援への謝辞、少子化の影響等の経過説明があり引続き部活動に於けるハンドボール部、自転車部、ブラスバンド部の全国大会での活躍の報告がなされ、そのほか進学、就職状況、部活動成績一覧表を配布頂きました。続いて竹本東京氷見会副会長からご祝辞を賜り、その後、経済評論家青野豊作氏〔高5回生〕から著作の「実録・越中魂」の講演をいただきました。内容は江戸時代の厳しい年貢〔越中は5公5民：他藩は4公6民〕や7つの暴れ川の氾濫被害による夜逃げ、売薬、北前船の交易等により働き者で忍耐強い情報通の越中魂が、全国に知れ渡ったこと等、奈良朝時代に遡り越中人の魂の形成について多面的角度から分析され、大変わかり易く興味深いお話をされました。第三部は田賀宗彦氏（併中1回生）のご発声による乾杯で始まり、上野公淳〔高12回生〕の紹介による初参加の方や久し振りに出席された方の紹介の後、各自テーブルを移動しての歓談、そして今回特に会員各位が日頃研鑽練磨されている写真、絵画、切り絵、書道の展示作品を鑑賞しました。恒例のピンゴゲームは久保仁常任幹事〔高19回生〕の司会で、支部が用意した景品に加え多数の同窓生等からご寄付頂いた豪華景品で、大いに盛り上がりました。その後、シャンソン歌手の浜本京子さん〔高20回生〕のリードにより全員で校歌を斉唱し、最後は森谷会長と関校長先生による万歳三唱でのエール交換、穴倉副会長〔高12回生〕の閉会の言葉があり各人、同窓会本部から頂いた「蒲鉾」、主催者が用意した「氷見うどん」、氷見市農協から提供頂いた「ひみ穂波」、会場内物産店で購入した「氷見の思い出の品々」、村江近人〔高12回生〕撮影による各テーブル毎の記念写真を手に家路につきました。来年もまた会員の皆様の協力で盛大な総会になる事を願って報告と致します。



第39回 同窓会総会

期 日 平成18年 8月13日

場 所 氷見JAパレス

今年度の総会参加者は約90人でした。高校18回卒業の吉野耕三さんの司会で、稲積佐一会長が挨拶、関寛校長が母校の近況を報告しました。協議の前に、永年勤続職員（10年）の表彰が行われました。その後、稲積会長を議長に選出して、平成17年度活動・会計・監査報告があり、平成18年度活動、予算案を協議し参加者の承認を受けました。今年は母校創立80周年でもあり、同窓会館の改修工事や記念式典などの周年行事に関する報告や、今後の活動について確認しました。

懇談会は高校58回卒業の中原崇文さんの司会、石坂副会長が乾杯の発声で、和やかな雰囲気の中で親交を深めました。今回から、学生代表幹事の中から司会を選出し、総会・懇親会の運営にあたるよう役員会で決めたの実施でしたが、今後もたくさんの同窓生のみなさんが参加できるように会の企画運営に工夫していきたいと思えます。



麗峰グリーン会

氷見高校を卒業された皆様方におかれましては様々な地域や場面で、ご活躍のこととお喜び申し上げます。今年度より、四代目会長釣谷広巳氏より五代目会長梶義明氏にバトンタッチし、新会長のもと新しい事務局で「より開かれたコンペ」を目指して開催する運びとなりました。今年度の開催は、平成18年4月29日(土)と8月16日(水)でした。

例年、ゴールデンウィークとお盆に開催しており、参加人数は約50人ほどであり、会としてはまだまだ参加者を募集しております。県外でご活躍されている方、ユーターンで地元へ戻られた方、里帰りの方など、この会を利用して懐かしい顔を合わせてみませんか。

皆様の参加を心よりお待ちしております。

その他に、『富山県高校OB対抗ゴルフ大会』の氷見高校OBチームのお世話もさせていただいております。我こそはと思われる方、どしどしコンペに参加し、チームに入られてはどうでしょうか。

【今年の成績】

4月29日(土) 優勝・小谷口光夫 次勝・青野邦男 3位・中原和幸 4位・上野昭喜 5位・寛 秀衝

8月16日(水) 優勝・小橋史佳 次勝・遠藤和喜 3位・川上 修 4位・細川勝行 5位・釣 吉範

詳細につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.e-himi.com/green/>

今後の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、ご案内とさせていただきます。

麗峰グリーン会 事務局 藤森 毅至

～情報科目の未履修について～

既にご承知おきの方も多いかと存じますが、今般全国的に問題となった高等学校の必履修科目の未履修について、本校においても科目「情報」で不適切なことがございました。同窓会員の皆様にはご心配をおかけし、また、母校への信頼を裏切ることになりましたことに対して深くお詫び申し上げます。

本校では、一年次に受けるべき教科「情報」（標準単位二単位）の一部を、平成15年度より「理科総合A」や「数学」に振り替えて授業を行ってまいりました。そのために、現在の在校生に対して不足分を補う補習を実施しなければならなくなり、生徒、保護者の皆さんに負担や不安を抱かせることになりました。また、17年度卒業生につきましても、文部科学省から「該当者に不利益を被らせることは適当でない」との通達で、卒業資格や進路に対して影響しないということになりましたが、心配や迷惑をかけてしまいました。

このような振り替えに至った経緯・理由としては、週五日制に加えて、新教育課程になり「情報」や「総合的な学習の時間」などの新たな科目が加わり、その時間不足を7限授業や平日補習でできる限り対応してまいりましたが、大学等上級学校の学習に耐えうる学力を付けるために必要な時間が足りないという危機感には如何ともしがたいものがありました。しかし、どのような事情があったにせよ、法を遵守しなかったことに対して言い訳は許されません。今後は、同窓会員皆様の信頼を得るよう、教職員が一丸となり、再度気を引きしめて、学習指導・部活動指導等に取り組んで参りますので、どうかご理解いただき、従前同様のご支援を下さいますようお願い申し上げます。

のじぎく兵庫国体に参加して

3年2組 石野 実加子

国体決勝戦の日。私達は高校最後の試合を存分に楽しみながら、今まで練習してきたことをすべて出し切ろうと臨んだ。一人一人の「絶対勝つ」という気持ち

が強く、前半から自分達のリズムで試合ができた。後半に入り、相手に連続得点を許す場面もあったが、お互い声をかけ合い最高の試合をすることができた。

試合終了の笛が鳴った瞬間、これまでの様々な気持ちがこみ上げ、喜び一杯で、全員で嬉しい涙を流し喜び合った。選抜チームということもあり、互いのプレーを合わせるのに苦しみ、たくさん悩んだ。しかし、その涙で苦しみや悩みが吹き飛んだ。国体での優勝は私にとって大変大きな意味を持つものだと思う。この日は、最高の思い出となったと同時に新たなスタートをきった日でもある。これまで自分を支えて下さった方々に感謝すると共に、更なる飛躍を誓い、自分自身を高めていこうと思う。



東日本学校吹奏楽大会に出場して

吹奏楽部部长 滝川 絵理奈

私達は、この大会で北陸代表として初めての金賞を受賞しました。各支部の厳しい予選を勝ち抜いた学校が出場するので、代表が決まってからの日々は、もう一度原点に戻り徹底的にやり直し、予選までの練習より大変なものでした。本番では、結果よりも最高の演奏をする事を目標にしステージに立ちました。演奏の途中でこれまでのいろいろな事が思い出され、涙で先生の指揮が見えなくなりました。その涙は、感動の涙でした。結果は最高の「金賞」応援にかけつけて下さった校長先生はじめ多くの先生方や、これまで御指導下さった福島先生への感謝の気持ちでいっぱいです。



氷高祭について

3年6組 高田 まゆみ

私達三年生は、各クラスごとに模擬店をしました。今年は80周年記念の年として、氷高祭は二日間あり、去年、一昨年と先輩方の模擬店の様子を見ていた私達は当日がとても楽しみでした。準備の時は、試作品作りや、お金の計算Tシャツ作りなど、一人一人が自分のできることを見つけそれらをしました。どのように作れば美味しくできるのか、何をすればお客さんがいっぱい来てくれるかを考えるのは大変でしたが、買った人から美味しいと言われると、嬉しかったです。三年生にとって今年で最後の氷高祭は、とても良い思い出になりました。



2年1組 間谷 樹里

今年の氷高祭は「絆」というテーマで、クイズ大会、バンド、ダンス、カラオケなどのステージ発表を中心に行いました。話がうまくまとまらなかったり、リハーサルが順調に進まなかったりと多くの反省点が残りましたが本番は多くの人の心にいい思い出として残る素晴らしい氷高祭になったと思います。今後はこの氷高祭で得られた友情や絆を大切に、今後の学校生活に活かしていきたいです。

平成18年度 部活動実績

- 平成18年度北信越高等学校体育大会ハンドボール競技
 - 男子の部 準優勝
 - 女子の部 第3位
- 平成18年度全国高等学校総合体育大会 出場
- 第27回北信越国民体育大会ハンドボール競技
 - 少年男子 第2位 富山県 (男子ハンドボール部)
 - 第1回女子ユース (U-18) 世界選手権 (カナダ)
 - 女子ハンドボール部 石野実加子 出場
- 第61回国民体育大会
 - 少年男子 第5位 富山県 (男子ハンドボール部)
 - 少年女子 優勝 富山県 (メンバーに石野実加子)
- 平成18年度北信越高等学校体育大会自転車競技
 - 学校総合 第2位 氷見高校 (得点54点)
 - 4km速度競争 第1位 大石洋輔 第2位 清水一弘
 - スクラッチレース 第1位 大石洋輔
 - 個人ロードレース 第1位 大石洋輔 第2位 清水一弘
- 2006年チョンジュMBC国際ジュニアロードレース (韓国)
 - 団体総合の部 第1位 全国体連代表選手 寺垣慎太郎
 - 個人総合の部 第26位 寺垣慎太郎
- 平成18年度全国高等学校総合体育大会
 - 4km速度競走 第11位 大石洋輔
 - スクラッチレース 第13位 清水一弘
 - ポイントレース 第14位 寺垣慎太郎
 - ロードレース 第45位 寺垣慎太郎
- 第61回国民体育大会
 - ロードレース 第10位 寺垣慎太郎
 - エリミネーションレース 第11位 寺垣慎太郎
 - 1kmタイムトライアル 第24位 谷野竜史
- 平成18年度教育功労者等表彰 (富山県教育委員会)
 - 優良体育・スポーツ活動推進者 自転車部 寺垣慎太郎

平成18年度 教職員転入出職員

転入教職員	転出教職員
教頭 大場 範明 (←堺教委学校教育課)	教頭 永生 眞成 (→福野高校)
保健 中山 光広 (→有磯高校)	家庭 池田 桂子 (→有磯高校)
保健 関 美代子 (→高岡工業高校)	理科 笹島 嘉明 (→高岡高校)
理科 南 修朗 (→井波高校)	保健 中浦 悟 (→高岡高校)
家庭 津田 早苗 (→とらなみ野高校)	理科 本原 洋子 (→福野高校)
国語 三津島 淳 (→総合教育センター)	保健 稲積 祐子 (→有磯高校)
商業 石崎 聖 (→高志養護)	数学 鈴木 浩美 (→福岡高校)
理科 北 正実 (→総合教育センター)	国語 澤森 史世 (→新潟西部中学校)
理科 明野さやか (—)	商業 永井 郁子 (→石動高校)
数学 濱田 三寛 (—)	数学 島田 研一 (—)
主任 山田 美恵 (→とらなみ養護師範学校分校)	英語 鎌仲世知子 (→伏木高校)
	社会 高瀬 直子 (—)
	主任 岩城 美幸 (→こまどり養護)

事務局から

このたびの17号は、創立80周年に関する記事を中心に作成いたしました。同窓生の皆様には、記念事業の実施にあたり、多くのご支援をいただきましたことを深く感謝申し上げます。当日は、多くの関係者の皆様にご出席をいただき、盛大な式典が行うことができ、氷見高校の未来に向けて、教職員、生徒一同決意を新たにしております。つきましては、今後とも母校発展のためのご支援ご協力をお願いすると共に、皆様方の一層のご活躍をお祈り申し上げます。